内容を必ずご確認ください

お問い合わせは
ジェネリックサポートセンターへ

通話無料 **0120-632-003**
（土、日、祝日を除く　8:30～17:15）

開設期間：令和元年9月30日まで

ジェネリック医薬品ご利用のおすすめ

服薬中の先発医薬品を、安価なジェネリック医薬品に切り替えることで、家計の負担を軽減できます。
ジェネリック医薬品の概要については同封のリーフレットをご覧ください。

で処方されたお薬を、ジェネリック医薬品に
切り替えた場合、　　程度安くなる見込みがあります。

あなたが受診された月の負担割合で計算しています。

処方されたお薬（先発薬）とお薬代		ジェネリック医薬品に変えると
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	

記載されているジェネリック薬は、複数ある内のよく使われているお薬の一例です。病院や薬局によって在庫がない、又はジェネリック薬の種類が異なる場合があります。ご検討の際には必ず医師又は薬剤師にご相談し、効能・負担金額等についてご確認ください。

JGA（日本ジェネリック製薬協会）http://system.jga.gr.jp/easycalc/
→ かんたん差額計算ジェネリック医薬品に切り替えたときのお薬代を簡単に計算比較できます。

処方されたお薬（先発薬）とお薬代		ジェネリック医薬品に変えると
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	

※最大28種類のお薬（先発薬）を記載しております。

ご注意ください

1. **ジェネリック医薬品と先発医薬品の主成分は同じですが、副作用等に個人差があります。変更をご希望の場合は必ず医師または薬剤師にご相談ください。**
2. ジェネリック医薬品への変更は、本人の意思を尊重するものでありこのお知らせにより強制されるものではありません。
3. 本明細にはジェネリック医薬品に切り替えることで自己負担が軽減できるお薬のみ記載しております。全てのお薬を記載しているわけではありませんので、処方歴の確認などにはご使用いただけません。
4. 本明細は、医療機関・薬局から請求のあったデータに基づいて作成しています。医療機関・薬局からの請求が遅れた場合は表記の期間内の受診であっても、本明細には記載していません。
5. お薬代は所定の薬剤料計算方法によって算出しています。又、薬剤料のみを表示していますので、窓口でお支払いになった金額と異なります。
6. ジェネリック薬の処方に要する費用が、切り替え額を上回り、実質負担が軽減されないことがあります。また、院内処方から院外処方に変えた場合、新規に発生する処方箋料等との差引きで安くならないことがありますのでご注意ください。
7. 掲載されている医薬品情報等は、7月31日現在の薬価基準収載品目リストを基に掲載しています。
8. 本通知は、全国健康保険協会船員保険部が、日本システム技術(株)に業務を委託して実施しています。委託事業者日本システム技術(株)には守秘義務が課せられており、個人情報及び薬剤情報は、このご案内の目的以外には一切使用しません。